

兵庫県のに漁場環境情報 (東播海域 8号)

2022年12月26日発行
 兵庫のに研究所

海域西部において、キートセロスを主体としてユーカンピア、リゾソレニア等の珪藻類が、依然多く発生しています。窒素は、明石海峡部の海水の影響が見られる魚住漁場以東で3~5 $\mu\text{g-at/L}$ 台、二見漁場以西では、陸水や沖合の海水の影響が見られる地点を除き、概ね1 $\mu\text{g-at/L}$ 前後の値となっています。

(水温) 漁場内平均11.6℃。平年比1.4℃、昨年比1.8℃ともに低い。(塩分) 平均32.08psu。前回(32.07)とほぼ同値。
 (栄養塩、珪藻) 海域東部では、明石海峡部の海水の影響が見られ、小型珪藻のキートセロス、レプトシリンドラスは確認されるが、発生量は少ない。海域西部では、キートセロス、ユーカンピア、リゾソレニア等の珪藻が多く確認された。前回(12/20)調査と比較して、リゾソレニア、レプトシリンドラスの発生量は減少していた。一方で、大型珪藻のユーカンピアは、発生量が増加していた。各海域のユーカンピア発生量(海水1mlあたり)は、二見~別府漁場で50~100細胞、高砂漁場で300細胞前後、伊保・白浜漁場で100~200細胞であった。
 別府漁場地先と高砂漁場では、陸水等の影響によりアンモニア態窒素の値がやや高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	12.7	11.6	13.0	13.4
窒素	3.5	3.4	5.4	3.0
リン	0.50	0.59	0.56	0.45

(12/20)

(12/29)

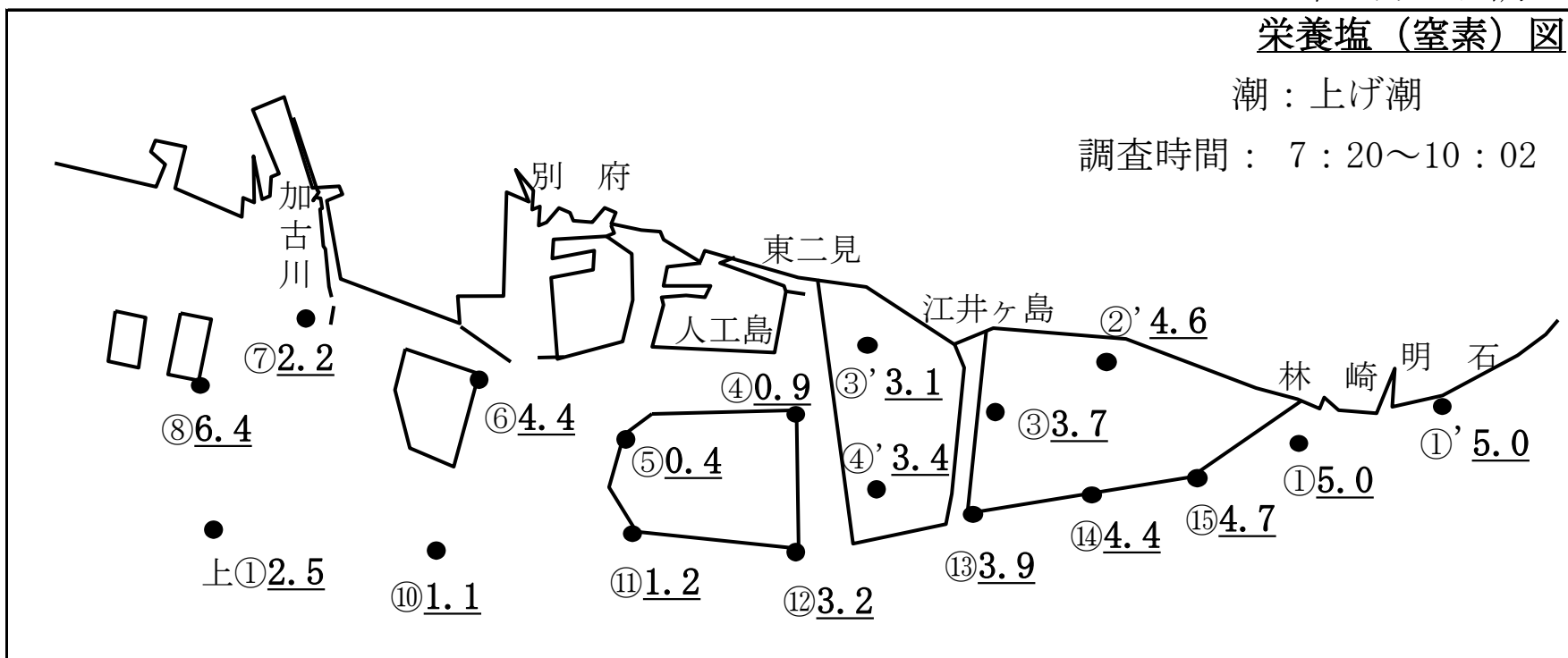
西播地先					
伊保地	水温	10.8℃	伊保沖	水温	11.8℃
	窒素	1.2		窒素	2.6
	リン	0.60		リン	0.72
白浜地	水温	10.3℃	白浜沖	水温	10.2℃
	窒素	0.4		窒素	2.2
	リン	0.44		リン	0.49

2022年12月26日調査

栄養塩(窒素) 図

潮：上げ潮

調査時間：7:20~10:02



水温図

